

農地整備事業地区の概要

- 事業名：農業競争力強化農地整備事業
- 地区名：中名生・下名生地区
- 受益面積：A=86.8ha
- 総事業費：1,858百万円
- 工期：H29～R8
- 関係市町村：柴田町
- 土地改良区：柴田町土地改良区
- 導入作物予定：水稻、大豆、ねぎ等
- 地区の特徴・PRポイント
 - ・高収益作物として、たまねぎと裏作にブロッコリー等の二毛作に取り組んでいる。
 - ・ドローンによる農薬散布・追肥、直進キープ田植機等の導入によりスマート農業に取り組んでいる。
 - ・水稻の直播栽培により省力化を図っている。

県内位置図

- 位置 しばたぐんしばたまち
宮城県柴田郡柴田町

宮城県位置図

なかのみよう・しものみよう
中名生・下名生地区



作付け計画・実績

- 【作付け計画(促進計画)】
 - ねぎ A= 2.0ha
 - 馬鈴薯 A= 0.8ha
 - かぼちゃ等 A= 1.4ha
- 【作付け実績(R5)】
 - たまねぎ A=0.8ha
 - ブロッコリー A=0.8ha(裏作)
- 【作付け計画(R6)】
 - たまねぎ A=0.7ha
 - ブロッコリー A=0.6ha(裏作)
 - かぼちゃ A=0.1ha(裏作)

取り組み内容

【担い手の状況】

令和3年2月に農事組合法人桜花爛漫を設立

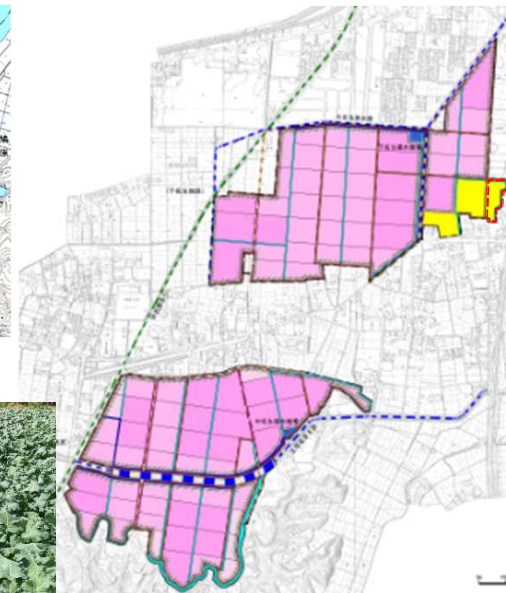
【課題とその対応状況】

当初、ねぎを主体として計画していたが、令和元年にJAみやぎ仙南たまねぎ部会が設立され、機械・施設を整備したことに伴い、たまねぎを試験導入し、併せて、裏作にブロッコリーの作付けも開始した。

【今後の展開方向】

排水対策及び土づくりを行うなど単収向上を図りながら、経営安定に向け園芸作物の生産拡大を目指す。

地区位置図・実践エリア



—：農地整備事業地区境
■：たまねぎ(ブロッコリー・かぼちゃ)作付けエリア

